

JARL

香川クラブ報

№ 194 昭和56年 6月15日



社団法人 日本アマチュア無線連盟香川クラブ

御 案 内

ク ラ ブ 定 例 ミ ー テ イ ン グ

上記の定例ミーティングを下記のとおり行ないますので多数御参加くださいますよう御案内申し上げます。

なお、今回は7月1日改正の電波法第110条第1号およびJARL制定「V・UHF帯使用区分」の一部改定等について説明がありますので、ぜひお出かけください。

記

1. 日 時 7月5日(日) 13.00～

1. 場 所 大的場健康増進センター 1階 会議室

※ 追記 7月下旬に開催予定の高松趣味協会主催「教養サロン」参加、香川県内ハムフェスティバル開催、その他重要な相談ごとがあり役員会も兼ねますので多数の御出席をぜひともお願いします。

新 入 会 員 紹 介

J A 5 V O 田 中 崇 弘

高松市

J A 5 E T K 佐 藤 康 宏

高松市

J H 5 F E H 佐々木 靖 生

高松市

J A 5 W S P 小 川 盛 雄

高松市

よろしく申し上げます。

初の広告はがき 7月7日発売へ

全国版2種・スポンサーは東芝と本田技研

「広告つき官製はがき」が7月7日(火)から全国の各郵便局で売り出される。売価1枚35円(通常はがきは40円)とお得な広告はがきの第1号、そしてその全国版の第1号でもある。

広告主は東京芝浦電気と本田技研工業の両者。発行枚数は各1,000万枚。

東芝の広告デザインは四つ葉のクローバーに、赤くローマ字の社名入り。本田は同社製の自動車とスクーターをあしらい、ホンダの社名とシートベルト着用のフレーズ入り。いずれもオフセット版・4色。広告専門家などで構成の「葉書広告懇談会」(郵政省郵務局長の私的諮問機関)にかけられたが「グッド・デザイン」との評価を得た。

なお広告はがきは料額印面も新意匠の「高層ビル」(オフセット・2色、原画は図案家の渡辺三郎氏)となった。

＝スポンサー“第1号”の企画意図＝

◇東芝＝四つ葉のクローバーを見つけると幸運が訪ずれるといわれている。

そこで1枚、1枚のはがきがいつでも幸せを運ぶ便りであるよう、総合電気メーカーとして幅広い技術を通じ、豊かで幸せな暮らしに奉仕する東芝の願いをこの四つ葉のクローバーに託した。

◇本田技研＝バイクや車は、仕事にレジャーに生活の足として大きな役割を果たしている。しかも最近は一人で近距離を走るときにはバイクで、人数の多いときには車でと上手に使い分けてガソリンの節約を心がける人が大変多くなってきた。しかし安全に対する心がけも大切だ。そこでバイクや車のある楽しい生活を訴求しながら、安全の基本であるヘルメットをかぶること、シートベルトを締めることを忘れないようにとの願いをこめて、この広告を制作した。

(注)今秋11月に地方版の広告はがき(郵政局所在地の都府県、その他の県は明年2月に売り出される。 『通信文化新報』56年5月23日から

太陽が拓く地球新時代

太陽熱試験発電所開設記念

仁 尾 太 陽 博

—昭和56年3月～58年11月—

◇ はじめに

香川県の西北部に位置し、かつては「塩の町」「みかんの町」として名をばせた仁尾町で、「国のサンシャイン計画」の一環である太陽熱試験発電所の運転を記念して「太陽の町」「新エネルギーの町」に衣替え、東洋では初めての科学イベントである「仁尾太陽博」が開催されています。

紺碧の海とさんさんと輝く太陽の恵みを受ける瀬戸内海を背景に「太陽エネルギーが拓く地球新時代」をテーマに、これまで人類に多大な恩恵をもたらしてきた太陽。その膨大な太陽エネルギーが新しい技術によって姿を変えようとしています。

そこで、人類が来るべき世紀に向かって繰り広げる壮大なエネルギー開発のドラマを直かに見て、触れ、理解し、確かめてもらう体験博物館。それが仁尾太陽博です。

仁尾太陽博は、太陽熱試験発電所、太陽科学博物館、全天全周の映像体験など種々の施設やイベント広場での楽しい催物、緑の散歩道等々、今日最も関心の高いエネルギーについて皆様の生活や学習にとって有意義で楽しい一日をお約束します。

◇ 太陽熱発電パイロットプラント

サンシャイン計画のうち、太陽エネルギーは身近で、存在量の膨大なクリーンなエネルギーとして我が国にとって、極めて魅力的なものです。この発電所は、約1万平方メートルの敷地にタワー集光方式と曲面集光方式（各々1千キロワット級）の2方式を設置しています。タワー集光方式は、4メートル四方のヘリオスタット（平面鏡）を807台設置して中央のタワー上（高さ69メートル）の集熱器に太陽エネルギーを収集するものです。曲面集光方式は、2,480枚の平面鏡と124台のパラボラ鏡を設置し、数多くの平面鏡で太陽熱をパラボラ鏡に集め、その集点でエネルギーを収集するものです。いずれも太

陽エネルギーを集めて密度の濃いエネルギーとし、それにより高温の蒸気を発生させタービン発電機を駆動して電気エネルギーを得るものです。

〈太陽科学博物館（ソーラーリウム）〉

仁尾太陽博のテーマ・パビリオンが太陽科学博物館「ソーラーリウム」です。人類今世紀最大のチャレンジである「造エネルギー技術開発プロジェクト」の全てを色々な展示技法を使って「現在のエネルギー事情」、「新しいエネルギーの開発」、「日本と世界のエネルギー問題」、「太陽熱試験発電の原理モデル」をはじめ造エネルギーの原理、実験などを通じて「見て」、「聴いて」、「触れて」、理解し確かめることができるようになっていきます。主な内容は、次のコーナーに分けられています。（以下次号）

香川県総合防災訓練参加について

香川県防災会議では下記の目的で7月24日(金)9時から高松市成合町地内、香東川河川敷（成合橋～中森橋）において総合防災訓練を実施することになり、現在計画打合せ中ですが、わが「JARL香川県支部」および「香川県アマチュア無線赤十字奉仕団」はこれに参加することになりました。御協力を頂ける方はお申し出ください。（起震車が来ます。一度おためしください。）

（目的）

災害対策基本法及び香川県地域防災計画に基づき、防災関係機関と住民が一体となって、人命救助・災害応急対策等の総合防災訓練を行うことにより、防災関係者及び住民に、災害時における心構えと防災活動の迅速・円滑化並びに参加機関相互の有機かつ効果的な協力体制の確立を図ることにより、防災活動体制の充実強化と一般住民の防災意識の高揚を図る。

（参加機関）

各市町消防団・自衛隊・日赤香川県支部・警察本部・警察署・四国管区警察局・香川県通信部・日本電信電話公社・四国電力株式会社・高松市役所・婦人防火クラブ・日赤地元奉仕団・各消防本部・香川県トラック協会・地元住民・LPガス保安協会・一般高圧ガス保安協会 等

(J A 5 I Q P)

社団法人 日本アマチュア無線連盟

香川クラブ報

発行責任者	JA5MG	稲毛 章
編集者	JA5CM	村田 吉弘
"	JA5IQP	合田口正春
"	JA5MNY	竹仲 善孝

連絡事務所 高松市中新町 [REDACTED]

天野英弘 方

郵便振替口座 徳島8758 JARL香川クラブ